



クイックスタートガイド



MONITOR2USB

High-End Speaker and Headphone Monitoring Controller with
VCA Control and USB Audio Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたら、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP LTD. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP LTD. 2017 無断転用禁止。

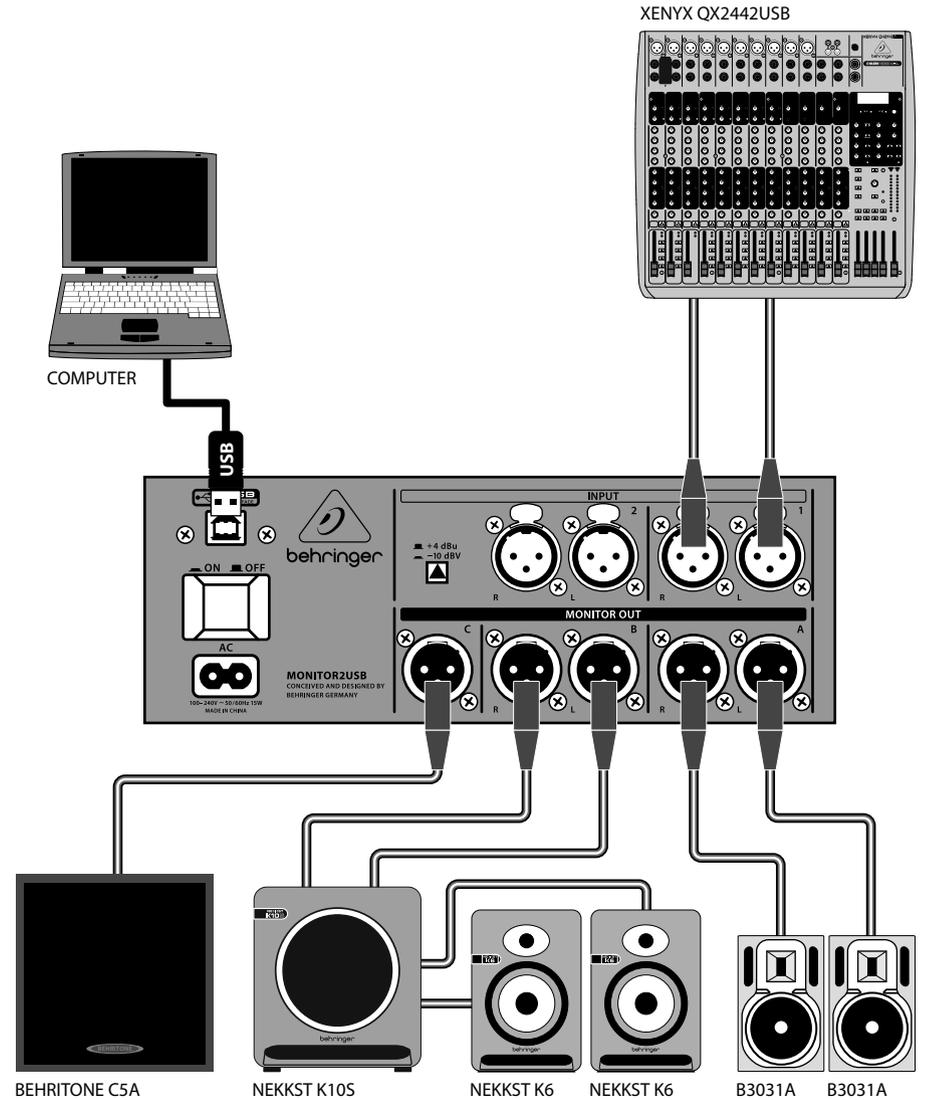
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

MONITOR2USB フックアップ

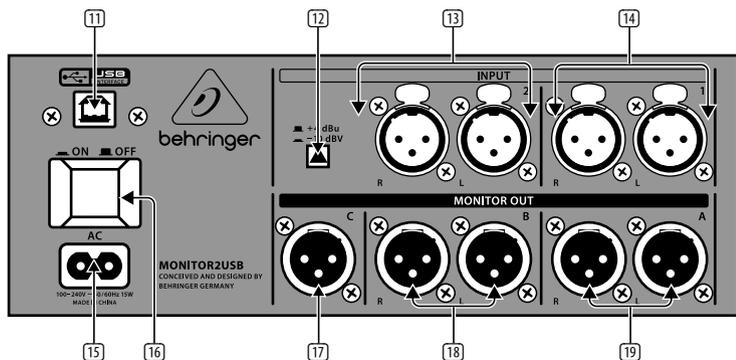
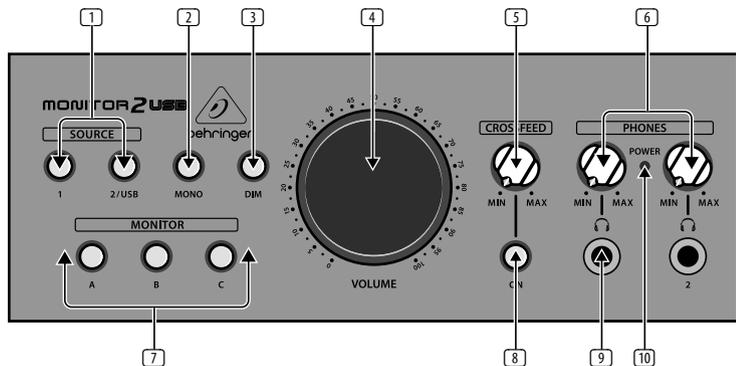
ステップ 1: フックアップ

ステレオモニター、ステレオモニターとサブウーファー、モノ・フルレンジ・モニター、そして USB 経由で DAW を使用するスタジオ・セットアップ



MONITOR2USB コントロール

ステップ 2: コントロール



- 1 **SOURCE 1** (ソース 1) および **SOURCE 2/USB** (ソース 2/USB) ボタン入力ソースの有効時に制御します。ソースの有効時、ボタン周囲の環状 LED が点灯します。
- 2 **MONO** (モノ) ボタン左右に分離されたステレオ音像をモノラルにします。
- 3 **DIM** ボタンリスニング音量を 15dB 減衰します。本機能によりミックス時、高めの音圧と低めの音圧を素早く切り替え可能です。また本機能は、2つのヘッドフォンの接続、取り外しおよび切り替え時、異なるインピーダンス値による、音量の大きいクリックやポップノイズ、過大なボリューム落差などから、聴覚を保護

するためにご使用いただけます。

- 4 **VOLUME** (音量) コントロールスピーカー出力の全体音量を調節します。

警告! 電源を入れる前に、すべての音量やレベルコントロール類が、反時計回りいっぱいになっていることをご確認ください。

- 5 **CROSSFEED** (クロスフィード) コントロール左右のヘッドフォン・チャンネルをブレンドし、オープンな音響空間における、モニタースピーカーのステレオ・パノラマ特性をシ

ミュレートします。オープンな空間では、音声は左右の各モニタースピーカーから、左右の耳に入り、付加的な発音タイミング情報を脳が認識し、それにしがたがってリスナーはステレオ音場を覚覚します。ヘッドフォンの場合は対照的に、左右の耳に完全分離したステレオチャンネルを供給するため、反対側の耳へのクロスオーバーが生じません。このクロスオーバーの欠如により、ヘッドフォンでミックスを聴いた時に差異を感じ、また長時間のリスニングでより疲労しやすいといったことが生じます。CROSSFEED 機能を使用すると、ヘッドフォンでもステレオ・サウンド・モニターの音を緻密にシミュ

レートできるため、ミックスにおいても、モニタースピーカーでのミックスに肉薄でき、ヘッドフォンを使った長時間の作業でも、耳の疲労を軽減できます。

- 6 **PHONES** (フォン) ノブ 2 つのヘッドフォン出力端子の音量レベルをそれぞれコントロールします。
- 7 **MONITOR** (モニター) ボタン対応する **MONITOR OUT XLR** ジャックに接続した、A、B およびスピーカーグループの有効/無効を切り替えます。これらのボタンを使用して、異なるステレオスピーカー (グループ A および B) でのミックスの聴き比べ、またオプション的な使用方法として、シングル・フルレンジ・スピーカー (1 つの出力しか持たないグループ C) を有効にし、モノラル・モニタリングが可能です。(グループ出力に、セパレート・サブウーファアを接続すると、ミックスの超低域のチェックにも使用できます。MONITOR グループの有効時には、対応するボタンの環状 LED が点灯します。
- 8 **CROSSFEED ON** (クロスフィード・オン) ボタン CROSSFEED 機能を有効にします。CROSSFEED 有効時、ボタン周囲の環状 LED が点灯します。
- 9 **PHONES 1** (フォン 1) および **PHONES 2** (フォン 2) 出力 1/4 インチ TRS コネクターで、ヘッドフォンを接続します。各出力に独立した音量コントロールが装備されています。ヘッドフォン変更の際は DIM ボタンを押し、過大音量のクリックやポップノイズ、異なるインピーダンス定格によるボリューム落差などから、聴覚を保護してください。
- 10 **POWER LED** (電源 LED) ユニットの電源がオンの時に点灯します。
- 11 **USB タイプ B** 接続 コンピューターから直接、MONITOR2USB にオーディオをストリームできます。SOURCE 2/USB ボタン

で、USB 接続を有効にします。USB 接続使用中も INPUT 2 アナログ接続は有効で、両端子からの入力音声は統合されます。この USB/INPUT 2 の統合信号に関しては、音源機材側の音量コントロールで相関的な信号レベルを調節してください。

注意! USB オーディオ・インターフェイスはクラス・コンプライアントのため、特別なソフトウェア・ドライバーは不要です。またローレイトンシー ASIO* ドライバーもご使用いただけます (ASIO4ALL など)。ただホスト・ソフトウェアによっては、USB 入力ソフトウェア側で、モノラル・マイクロフォンとして、過大なソフトウェア・ゲインに初期設定されている場合があります。その際はユーザー側で USB 入力をステレオ・ソースとして設定しなおし、ソフトウェア・ゲインも適宜低減する必要があります。

*ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

- 12 **+4 dBu / -10 dBV** ボタン XLR ジャックの INPUT 2 グループのレベル感度を変更します。+4 dBu に設定すると、業務用オーディオ機材の標準ラインレベルと適合し、-10 dBV では一般消費者向けオーディオ (CD/DVD プレイヤーなど) の標準感度に適合します。入力感度を適切に設定すると、2つのステレオ入力グループ間のレベル・マッチングがしやすくなり、出力間で大きな音量差が生じることを防ぎます。
- 13 **INPUT 2** (入力 2) 機器からのオーディオ信号を XLR ケーブル経由で受け入れます。INPUT 2 を有効にするには、フロントパネルの SOURCE 2/USB ボタンを押します。入力感度は、+4 dBu / -10 dBV ボタンで、業務用機器 (+4 dBu) または消費者向け電気機器 (-10 dBV) に合わせて設定してください。INPUT 2 アナロ
- 14 **INPUT 1** (入力 1) XLR ケーブルを使用し、機器からのバランス・オーディオ信号を受信します。INPUT 1 を有効にするには、SOURCE 1 ボタンを押します。INPUT 1 の感度は、業務用オーディオ機材の標準である +4 dBu に設定されています。
- 15 **AC INPUT** (AC 入力) ジャック付属の電源ケーブルをここに接続します。
- 16 **POWER** (電源) ボタン ユニットの電源のオン / オフを切り替えます。
- 17 **MONITOR OUT C** (モニター出力 C) セクションシングル・フルレンジ・スピーカーまたはサブウーファアを接続すると、業務用オーディオ機材の標準ラインレベルと適合し、-10 dBV では一般消費者向けオーディオ (CD/DVD プレイヤーなど) の標準感度に適合します。入力感度を適切に設定すると、2つのステレオ入力グループ間のレベル・マッチングがしやすくなり、出力間で大きな音量差が生じることを防ぎます。
- 18 **MONITOR OUT B** (モニター出力 B) セクションステレオのモニタースピーカー 1 組を接続する、左右のデュアル XLR 出力。MONITOR OUT B 接続を有効にするには、フロントパネルの MONITOR C ボタンを押します。
- 19 **MONITOR OUT A** (モニター出力 A) セクションステレオのモニタースピーカー 1 組を接続する、左右のデュアル XLR 出力。MONITOR OUT A 接続を有効にするには、フロントパネルの MONITOR A ボタンを押します。

グ接続は USB オーディオ接続の使用中でも引き続き有効で、両接続からの音声は統合されます。USB/INPUT 2 の統合信号は、音源機材側の音量コントロールで相関的な信号レベルを調節してください。

注意! INPUT 2 アナログ入力のみを使用する場合、USB D/A コンバーターから生じるノイズを遮断するため、USB ケーブルを背面パネルから外してください。

MONITOR2USB はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1 必要な接続をすべておこないません。まだ電源は入れないでください。
- 2 モニタースピーカーの電源がオフになっていることを確認します。
- 3 オーディオ音源 (ミキサー、コンピューター、録音インターフェイス) の電源を入れます。
- 4 VOLUME、CROSSFEED および PHONES ノブを、反時計回りいっぱいに絞ります。
- 5 ユニットの電源をオンにします。
- 6 モニタースピーカーの電源を入れます。
- 7 SOURCE 1 ボタンを押します。ボタン周囲の環状 LED が点灯します。
- 8 INPUT 1 ジャックに接続した機器で、オーディオ再生を開始します。
- 9 MONITOR A または B ボタンを押し、モニタースピーカーを選択します。
- 10 VOLUME ノブを時計回りにゆっくりと回し、任意のリズニングレベルまで上げます。適切なリズニング音量を VOLUME ノブの値 20 ~ 80 の間で設定します。丁度良いと感じる音量がこの範囲外になる場合、オーディオソース側で信号レベルを加減し、範囲内になるよう調整してください。
- 11 INPUT 2/USB 端子に接続した、オーディオソースのレベルチェックを開始する前に、VOLUME ノブを反時計回りいっぱいに絞ります。
- 12 INPUT 2 に接続した機器が、CD/DVD のような一般消費者向けオーディオ機器の場合、+4 dBu / -10 dBV 感度ボタンを -10 dBV に設定してください。業務用機器の場合は感度を +4 dBu に設定します。
- 13 INPUT 2 または USB に接続した機器リズニングレベルになるまでゆっくりと時計回りに回します。
- 14 VOLUME ノブを時計回りにゆっくりと回し、任意のリズニングレベルまで上げます。適切なリズニング音量を VOLUME ノブの値 20 ~ 80 の間で設定します。丁度良いと感じる音量がこの範囲外になる場合、オーディオソース側で信号レベルを加減して、範囲内になるよう調整してください。
- 15 INPUT 1 および INPUT 2/USB のオーディオソース間のレベルを調整します。両方の機器でオーディオ再生を開始してから、SOURCE 1 および SOURCE 2/USB ボタンを使ってオン / オフを何度か切り替えます。VOLUME ノブの位置は変えずに、各機器の出力レベルを調整し、同じ音量になるようにします。

CROSSFEED 機能の使用

- 1 PHONES ノブが反時計回りいっぱいに絞られていることを確認します。
- 2 CROSSFEED ノブを反時計回りいっぱいに絞ります。
- 3 CROSSFEED 機能がオフになっていることを確認します。CROSSFEED ON ボタン周囲の環状 LED が消えている状態です。
- 4 MONITOR A または B ボタンを押し、モニタースピーカーを有効にします。
- 5 オーディオ機器のオーディオ再生を開始します。
- 6 PHONES 1 出力にヘッドフォンを接続します。
- 7 ヘッドフォンを装着した状態で、PHONES 1 ボリュームノブを時計回りに上げてゆき、モニタースピーカーの音量と聴感上同じ、心地よいレベルに設定します。
- 8 ヘッドフォンを頭から外し、モニタースピーカーのステレオ音場を聴きます。
- 9 CROSSFEED ON ボタンを押し、CROSSFEED 機能を有効にします。CROSSFEED ON ボタン周囲の環状 LED が点灯します。
- 10 ヘッドフォンを再び装着し、ヘッドフォンのステレオ音場を聴きます。
- 11 CROSSFEED ノブを少しずつ時計回りに回し、CROSSFEED 機能によるヘッドフォンのステレオ音場の変化を聴きます。
- 12 一定の間隔でヘッドフォンを外して、モニタースピーカーのステレオ・パノラマと、ヘッドフォンのステレオ音場を比較します (必要に応じ、適宜 MONITOR ボタンでモニタースピーカーをオフにすると、ヘッドフォン音声が目瞭に聞こえます)。
- 13 常に比較しながら徐々に CROSSFEED ノブを時計回りに回し、ヘッドフォンのステレオ音場を、可能な限りモニタースピーカーの音に近くなるよう設定します。
- 14 またモニタースピーカーと聴き比べるのではなく、単純にヘッドフォンで聴きやすいように CROSSFEED ノブを設定してお使いいただくこともできます。

JP 技術仕様

| Analog Inputs | |
|--------------------------------|---|
| Input 1 | 2 x XLR |
| Impedance | 20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced |
| Sensitivity | +4 dBu |
| Input 2 | 2 x XLR |
| Impedance | 20 kΩ balanced, 10 kΩ unbalanced |
| Sensitivity | +4 dBu / -10 dBV, switchable |
| Analog Outputs | |
| Monitor out A | 2 x XLR, balanced |
| Monitor out B | 2 x XLR, balanced |
| Monitor out C | 1 x XLR, balanced |
| Phones | 2 x ¼" TRS |
| Digital Processing | |
| Input | USB 1.1, type B |
| D/A conversion | 44.1 / 48 kHz |
| System | |
| Frequency response (-3 dB) | <10 Hz to 120 kHz (-3 dB) |
| Signal-to-noise ratio | 85 dB @ 0 dB, A-weighted |
| CMRR | >50 dB @ 1 kHz, 0 dBu input level, unity gain |
| Distortion (THD+N) | 0.03 % @ 1 kHz, 0 dBu input level, unity gain |
| Crosstalk | >75 dB @ 1 kHz |
| Dim | -15 dB |
| Power Supply / Voltage (Fuses) | |
| Switch mode power supply | 100-240 V ~ 50/60 Hz |
| Power consumption | 15 W |
| Dimensions / Weight | |
| Dimensions (H x W x D) | 84 x 216 x 199 mm (3.3 x 8.5 x 7.8") |
| Weight | 1.5 kg (3.3 lbs) |

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにならないときは、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC